本当の優しさとは

岡山市・岡山大付属中3年
岩上竜一郎さん

もし、目の前で、犬がボロボロになり、飢えて倒れていたら、あなたならどうしますか。助けますか。それとも見捨てますか。

おそらく多くの人が助けたいと思うでしょう。そして、犬が好きな私は、餌をあげてしまう気がします。しかし、この優しさに溢れた行為が、犬や人を困らせてしまうと知り驚きました。

記事によると、岡山市内の住宅街で外部の人たちが野良犬に餌を与えていることで急速に繁殖し、実害による苦情が寄せられるようになったのです。そこで、市の保健所は捕獲作戦を展開し、2023年度計35匹を捕まえました。

私自身も、野良犬に困らせられたことがあります。小学生の時、下校中に襲われそうになり、すごく怖かったことを覚えています。

野良犬は、どんな病気を持っているか、人に対してどんな風に反応するかわからないので、接するには注意が必要です。また頭数が増えれば、外で歩くのも怖くなるかもしれません。

この事実を知っていても、目の前にいる犬がかわいそうに思えてしまって、なかなか諦めきれない人も多いと思います。諦められないなら、その犬を飼えるように準備するか、自分で飼えないなら、飼える人を探したり、行動を起こすべきです。餌を与えるという一時の優しさだけでは、本当の意味で、犬も人も救うことにはなりません。

餌をやり、繁殖を助けてしまうことで、さらに多くのかわいそうな野良犬が増えていきます。そんな野良犬が、保健所にはたくさんいます。私の祖父母の家にいる犬も、保健所から譲渡してもらい、家族になりました。山で母犬と捕獲されたそうです。すごく怖がりで、ビニールの音にも漏らしてしまうような子犬でしたが、今は祖父母とのんびり暮らしています。保健所の犬たちは、譲渡先が見つかりにくいこともあります。そうならないためにも、野良犬を減らす取り組みが必要なのです。

助けたいと思うその優しい気持ちを、ぜひ行動につなげてほしいと思います。そして、そのような取り組みを新聞で広げたり、学校や地域で実施していくべきだと考えています。

犬も、人も、安心した暮らしを得られるように、私もできることから始めたいと思っています。

悩む住民、保健所と対策

2024年5月18日付　山陽新聞

市保健所が矢坂山で捕獲した野犬

岡山市郊外地近郊の矢坂山周辺の住宅街で野犬が頻繁に出没し、地域の悩みの種となっている。住宅街の外から訪れる人たちが餌付けを行い、急速に繁殖しているためとみられ、市保健所は野犬の捕獲を強化。住民も対策に乗り出し、山付近にポスター「餌やり控えて」を貼って「餌やりを控えるように呼びかけている。（写真有線）

散歩できない、少年団の登山中止…

岡山

矢坂山周辺 野犬頻繁に出没

大野小児童がポスター「餌やり控えて」

大野、三門など複数の学区に住む矢坂山周辺は、ペットとして捨てられたり、逃げ出したりした犬が繁殖しやすい地域。市保健所によると、昨年度、同地域で捕獲された野犬は計35匹。今年度も4月末までに3匹が捕獲されるなど、ここ3年ほど毎年、捕獲が続いている。

市保健所の職員が定期的に巡回するなかで、住民から「犬が増えている」などの苦情が寄せられるようになった。2024年度は市民の協力を得て、捕獲作戦を展開。職員が矢坂山周辺の住宅街を巡回し、犬の目撃情報を集めるなどして、捕獲に成功した。

市保健所は、「犬の数が増えれば、外で歩くのも怖くなるかもしれない」と話す。

住宅街の周辺の数カ所に、矢坂山付近で野犬が目撃されたとの情報が寄せられ、市保健所は、ペットとして捨てられたり、逃げ出したりした犬が繁殖しやすい地域だとみている。

「お前らが餌付けするから、人間もそれを目当てに集まってくる。犬が増えるのは自分たちのせいだ」と厳しくつぶやく。餌付けによって、犬が人間を恐れなくなり、人間に近寄ってくるようになるなどの問題が発生。繁殖を助けてしまうことも問題視されている。

2024年度は市民の協力を得て、捕獲作戦を展開。職員が矢坂山周辺の住宅街を巡回し、犬の目撃情報を集めるなどして、捕獲に成功した。

市保健所は、「犬の数が増えれば、外で歩くのも怖くなるかもしれない」と話す。

矢坂山付近で捕獲された野犬（市保健所提供）

（C）山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。